

教 育 委 員 会 議 事 録

(令和4年度 教育委員会 第2回臨時会)

開会 令和4年7月20日(水)

閉会 令和4年7月20日(水)

午後2時00分

午後2時55分

場所 西宮市役所6階教育委員会会議室

出席委員	教育長 重松 司郎 委員 側垣 一也 委員 長岡 雅美 委員 藤原 唯人 委員 山本 幸夫	欠席委員		
会議に出席 した職員	職	氏 名	職	氏 名
	教育次長	藤井 和重	西宮高校教科用図書選 定委員会委員長	油井 光伸
	教育総括室長	薩美 征夫	(西宮高等学校長)	
	参与(人事担当)	八橋 徹	西宮東高校教科用図書 選定委員会委員長	中村 みはる
	参与(教育政策推進担当)	岡崎 州祐	(西宮東高等学校長)	
	学校支援部長	吉田 巖一郎	西宮支援学校教科用図 書選定委員会委員長	原田 綾女
	学校教育部長	杉田 二郎	(西宮支援学校長)	
	教育総務課長	竹村 一貴	義務教育諸学校教科用 図書選定委員会委員長	栗屋 邦子
	教育企画課長	原田 博司	(甲陽園小学校長)	
	学校教育課長	都志 啓二		
	教育研修課長	木田 重果		
	教育企画課係長	瀧井 佑介		
	教育総務課係長	大寺 修平		
署 名	教育長		委員	

付 議 案 件

< 議 題 >

- (審) 議案第28号 令和5年度使用西宮市立高等学校及び西宮支援学校教科用図書採択の件
[学校教育課]
- (審) 議案第29号 令和5年度使用義務教育諸学校教科用図書採択の件
[学校教育課]

以 上

傍 聴

0名

重松教育長	<p>ただいまより、令和4年度 第2回 教育委員会臨時会を開催します。議事録署名委員には、側垣委員を指名します。よろしくお願いします。</p> <p>はじめに。5月定例会と5月臨時会について、議事録の承認を行います。</p> <p>議事録は既にお手元に送付し、確認していただきましたが、簡単な字句の訂正を除き、承認してよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
重松教育長	<p>異議なしと認めます。それでは承認します。</p> <p>なお、簡単な字句の訂正があれば、事務局にお伝えください。</p> <p>ここで、各委員に確認します。</p> <p>本日は傍聴希望者がおられません。会議は公開が原則であり、本日の案件は非公開とする理由がないため、全て公開としてよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
重松教育長	<p>異議なしと認め、全て公開とします。</p> <p>それでは、事件表の順に審議を進めていきたいと思えます。</p> <p>では、議案第28号「令和5年度使用西宮市立高等学校及び西宮支援学校教科用図書の採択の件」を議題とします。</p> <p>学校教育課長、お願いします。</p>
学校教育課長	<p>初めに、教科書展示会について、報告をさせていただきます。</p> <p>6月12日日曜日から6月26日日曜日までの間、法定期間14日間、総合教育センター及び北口図書館にて開催いたしました。14日間で257名の来会があり、アンケートの意見は193件ありました。事務局で集約したものを、参考資料として添付しております。</p> <p>教科書につきましては、数年前、教科書発行者が検定中の教科書を教員らに見せて謝礼を渡したり、自社の教科書を採択した高校に無償で教材を提供したりするなど、不適切な事案が発覚し、大きな問題となりました。</p> <p>事務局としましては、選定委員会や調査員会にて、具体的事例を挙げて注意喚起することをはじめ、文部科学省による通知「教科書採択における公正確保の徹底等について」を、4月8日付で全ての市立学校に送付するとともに、校長会議に</p>

重松教育長	<p>て各校での周知及び指導を依頼し、市内の全教職員に公正確保の徹底を図ってまいりました。</p> <p>西宮高校、西宮東高校、西宮支援学校の教科書につきましては、各校で設置された選定委員会において教科書を選定いたしました。このあと、各選定委員会委員長より採択申請いたします。</p> <p>それでは、西宮高校選定委員会よりご説明をお願いします。</p> <p>油井選定委員会委員長、お願いします。</p>
西宮高校教科用 図書選定委員会 委員長	<p>選定委員会を代表して、令和5年度に使用する教科用図書採択について申請いたします。</p> <p>最初に、申請に至るまでの経緯について報告いたします。</p> <p>5月18日の教育委員会臨時会において議決された、「令和5年度使用西宮市立学校教科用図書の採択に関する基本方針」に基づき選定委員会を設置し、選定作業を進めてまいりました。</p> <p>まず、選定方針として、1. 本校の教育課程に照らし、指導上適切なものであること。2. 教材の分量、配分、設問等が学習に効果的であること。3. 本校生徒の学習能力に適応したものであること。と決めました。</p> <p>この基準にのっとり、各教科を中心に専門的な見地から調査研究を進めました。本校における教育活動を取り巻く状況は、高等学校の学習指導要領の改訂に伴い大きく変化しました。本年度は1年生、令和5年度は2年生が新教育課程へ移行することを踏まえ、本校生徒の傾向をもとに慎重に調査研究を進めてまいりました。</p> <p>具体的には、本校に入学してまいります生徒の多くは、非常に学習意欲が高く、国公立大学への進学を第一希望としている生徒が非常に多く、ほぼ全員が大学入学共通テストを受験する予定であります。</p> <p>生徒・保護者共に学校に対する期待度も非常に高く、先生方もそれに応えられるよう努力を重ねております。</p> <p>教科書の選定につきましては、基礎から応用まで自学自習が可能なもので、あわせて高いレベルの発展事項も掲載されていること。また、主体的・対話的で深い学びへとつながるような授業、また、総合的な探究の時間につながるような要素も検討しながら、本校の生徒に実情にあったような教科書を中心に検討してまいりました。</p>

その上で、各教科の代表、管理職、保護者、学識者から構成する選定委員会を6月15日に開催しまして、採択申請する教科書を決定いたしました。

その結果は、採択申請書の5から34ページに記載しております。

本校には、普通科とグローバル・サイエンス科がございますので、2種類の申請書を用意いたしました。

普通科についての申請書は、7から10ページになります。

申請する教科書を全て記載していますので、ご覧ください。

一番右の【選定理由】の欄が空欄の教科書は、今年度使っているものと同じ教科書を申請しています。

【選定理由】の欄に文章表記のある教科書は、今年度使用しているものから教科書を変更したものになります。

変更した教科書だけを見やすく整理したものが、11から16ページの「選定理由報告書」となります。

なお、参考資料として、18から22ページに【前年度対比資料】も添付しております。

18ページをご覧ください。

右側が今年度使用している教科書となっております。

左側が来年度（令和5年度）に使用したいと考えている教科書です。

グレーの塗りつぶしになっているものは、今年度に当該生徒が既に使用している教科書を、進級しても引き続き使用する予定のもので、今回の採択の対象外です。

黒の塗りつぶしに白文字で記載されているものは、前年度から使用している教科書を変更したものです。

白地に黒文字で記載されているものは、来年度も今年度と同じ教科書を選定しているものです。

それでは、11ページをご覧ください。順番に説明してまいります。

No. 15の情報Ⅰについては、内容の構成において、具体的な例を用いてプログラミングの説明をしていることで、理論と実習に乖離がなく、実習部分と講義部分を取り扱いやすいため、体系的な理解をさせることができる点から、実教出版の教科書を選定いたしました。

No. 16の論理国語については、各評論の文章レベルが高く、生徒の思考力・判断力を養うのに適していました。また、評論解析の手法がすぐれており、複数の評論文に共通する型を教授できることや、評論と小説、評論同士の比較読みが可能であること、定番教材に加えて、時勢に合わせた評論も多く、生徒の興味関心を

引くことができる点などから、桐原書店の教科書を選定しました。

No. 17、No. 18の古典探究については、読み比べや豆知識など多様な視点からの資料が充実しています。また、レイアウトに細やかな工夫が凝らされており、生徒の興味関心を高めることができるとともに、デジタル教科書データを付属している点などから、大修館書店の教科書を選定しました。

No. 19の世界史探究については、問題演習や用語集、動画や地図などが含まれているほか、QRコンテンツも豊富にあり、授業はもちろんのこと、生徒の自学自習に役立ちます。QRコンテンツというのは、よく載っている縞模様のQRコードです。それにスマホ等をかざすことによりまして、様々な資料等が閲覧できるというものです。また、以前の教科書ではあまり見られない、それぞれの事象の因果関係について詳述しており、特設ページの設定も多く、世界史の学習に必要な理解を深められるよう工夫されている点などから、帝国書院の教科書を選定いたしました。

No. 20の日本史探究については、文字の情報量が豊富かつ、近年重要度が増している戦後史の範囲においても情報量が充実しており、QRコンテンツによる画像に加え動画なども用意されているため、生徒が自学自習に取り組みやすくなっています。また、本文の説明に対し、注釈で異なる考え方もあることを示すなど、多面的な視点で記述されており生徒自身の考察を引き出しやすい点から、山川出版の教科書を選定いたしました。

No. 21の地理総合については、本校の生徒にあった知識・技能が過不足なく身に付けることができます。また、多様な世界の生活文化を多面的・多角的に理解できる点などから、二宮書店の教科書を選定しました。

No. 22の地理総合については、鳥瞰図が新たに掲載されており、地形をよりイメージしやすくなっています。また、デジタルコンテンツの「アクセスWebGIS」は、單元ごとに最適な資料が用意されており、ロイロノートなどを利用して生徒に配信することもできる点などから、帝国書院の教科書を選定しました。

ロイロノートというのは、教員が生徒にいろんな学習活動をしたり、あるいは生徒から教員に向かって、いろんなものを抽出したりするというのが、全て一つのアプリケーションで、できるというものでございます。例えばプリント配付やプリントに何かを書かせて提出させる、あるいは資料を配付する、資料に対するものを、いろんなことを説明する。そして生徒が、いろんなことについて書いたものを一つのまとめた形で表示できるという機能を持っているものでございます。様々な教育活動に活用、応用できるソフトとなっております。

No. 23の数学Ⅱについては、数学Ⅲにつながる内容である、座標平面上での点の回転や三角関数の媒介変数表示が発展などの項目で述べられています。また、解き方の手がかりが適切な量である点などから、数研出版の教科書を選定しました。

No. 24の数学BC特講1については、連立漸化式が扱われています。また、数学Aの整数の分野との関連が述べられている点などから、数研出版の教科書を選定しました。

No. 25の数学BC特講1については、空間内での平面の方程式や直線の方程式まで網羅されています。また、点と直線の距離の証明が点と平面の距離の証明になる点が述べられていることなどから、数研出版の教科書を選定しました。

No. 26の物理基礎については、演習問題の内容と難易度が最も適切であり、「物理」の内容が発展事項として詳しく掲載されています。また、適切な図や写真を用いられていることにより、高度な内容の学習が可能となるとともに、タブレットを用いた自学自習にも適している点などから、数研出版の教科書を選定しました。

No. 27の物理については、演習問題の内容と難易度が最も適切であり、コラムや思考学習、参考などにより豊富な発展的内容となっています。また、適切な図や写真を用いられていることにより、高度な内容の学習が可能となるとともに、タブレットを用いた自学自習にも適している点などから、数研出版の教科書を選定いたしました。

No. 28の化学については、適切な図や写真を使用しており、高度な内容の学習が可能となっています。また、興味・関心を引くような記述内容の工夫が見られ、学習効果が高めることが期待できるとともに、タブレットを用いた自学自習に適している点などから、数研出版の教科書を選定しました。

No. 29の生物基礎、No. 30の生物については、適切な図や写真を使用しており、高度な内容の学習が可能となっています。また、興味・関心を引くような記述内容の工夫が見られ、学習効果が高めることが期待できる点などから、数研出版の教科書を選定しました。

No. 31の地学基礎については、図版が分かりやすく簡潔に描かれており、容易に理解できるよう工夫されています。また、重要語句に英語表記がなされていたり、歴史的事象や生活状況との連携・関連などが記載されていたりして、他教科や他分野との融合にも寄与する点などから、数研出版の教科書を選定しました。

No. 32の英語コミュニケーションⅡの桐原書店の教科書は、幅広い分野から出典されており、生徒の興味を引く題材となっています。また、ワークシートやパ

<p>重松教育長</p> <p>西宮東高校教科 用図書選定委員</p>	<p>ワーポイント資料など充実した指導用教材をそろえており、レッスンごとに4技能を伸ばす活動が充実している点などから、選定しました。</p> <p>No. 33の論理・表現Ⅱの新興出版社啓林館の教科書は、4技能を伸ばす活動が多く掲載されておりまして、ワークブック、参考書など周辺教材の充実や本校生徒のレベルにあった発展的な内容である点などから、選定しました。</p> <p>No. 43のコミュニケーション英語Ⅲの三省堂の教科書は、題材が興味深く生徒の知的好奇心をかきたてる内容となっています。また、語彙や文法、文構造の習得や内容理解だけでなく、リスニング力や表現力もつけられるような構成内容であり、補助教材データも充実しているために生徒レベルに合わせたカスタマイズが容易である点などから、選定しました。</p> <p>続きまして、グローバル・サイエンス科の申請書及び参考資料は23から34ページとなります。</p> <p>普通科の申請書と同様の形式で記載しております。</p> <p>変更した教科書だけを見やすく整理したものが、27ページの「選定理由報告書」となります。</p> <p>ここで、27ページ、28ページのNo. 9、No. 24以外の教科書については、普通科でも選定した教科書と同じものとなりますので、選定理由については説明を省略させていただきます。</p> <p>No. 9の探究化学Ⅰについては、適切な図や写真を使用しており、高度な内容の学習が可能であるとともに、興味・関心を引くような記述内容の工夫が見られ、学習効果を高めることが期待できる内容となっております。また、タブレットを用いた自主学習を行うことに適している点などから、数研出版の教科書を選定しました。</p> <p>No. 24の解析学Ⅱについては、中間値の定理の応用例が取り上げられています。微分方程式の初歩が物理との関連を踏まえて述べられている点などから、数研出版の教科書を選定しました。</p> <p>報告は以上です。ご審議をよろしくお願いいたします。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>では、続いて、西宮東高校選定委員会より、ご説明をお願いします。</p> <p>選定委員会を代表して、令和5年度に使用する教科用図書採択について申請いたします。</p>
---	--

会委員長	<p>最初に、申請に至るまでの経緯について報告いたします。</p> <p>5月18日の教育委員会臨時会において議決された、「令和5年度使用西宮市立学校教科用図書採択に関する基本方針」に基づき選定委員会を設置し、選定作業を進めてまいりました。</p> <p>まず、選定方針を1. 指導要領の内容に従い、本校における生徒の進路、適性、能力等を十分考慮し、教育課程実施上最適である。2. 各教科ごとに教科書記述内容を研究し、さらに地域社会の要望など客観的資料を含め総合的見地から選定する。3. 各教科から推薦のあった教科書を、本校教科書選定委員会において再検討を加えて公正を期する。と決めました。</p> <p>この基準にのっとり、各教科を中心に専門的な見地から調査研究を進めました。新課程への移行にともない、注意深く調査研究を進めてまいりました。</p> <p>具体的には、本校に入学してくる生徒の基礎的な学力は年々高くなり、多くの生徒が難関大学の進学を希望しているところです。</p> <p>そこで、高度な発展事項が含まれていて、生徒の進路実現をかなえるレベルのものであること。また、基本的な内容を応用したり、より深い学びへとつなげたりするための教材が充実した教科書を中心に検討いたしました。</p> <p>その上で、各教科の代表、管理職、保護者、学識者から構成する選定委員会を6月21日に開催し、採択申請する教科書を決定いたしました。</p> <p>その結果は、採択申請書の37から48ページに記載しています。</p> <p>申請書の見方については、西宮高校と同様であります。</p> <p>なお、参考資料として、46から48ページに【前年度対比資料】も添付しております。</p> <p>37から40ページには申請する教科書を全て記載しています。</p> <p>それでは、41ページをご覧ください。</p> <p>No.16の論理・表現Ⅰのいづな書店の教科書は、英語学習の基盤である文法を様々な形で学習することができる内容となっています。また、文法を軸に表現力の基礎を養うとともに、演習、言語活動、発表という一連の学習活動を行いやすい教材となっており、教科書の内容をより理解を深めるものとして周辺教材、デジタルツールなどが多数用意されている点から、選定しました。</p> <p>No.19の論理国語については、論理的な思考を学ぶためのことばと人間の本質を深く探究する文章が豊富に掲載されています。また、近代の評論や翻訳の評論などバラエティ豊かな教材となっているため、抽象度の高い思考を身につけることができる点から、筑摩書房の教科書を選定しました。</p>
------	---

No. 20、No. 21の古典探究については、随筆、物語、日記、説話から評論、伝承・伝説、近世の様々な文章が取りそろえられています。また、古典文化を重層的に学ぶことができる教材となっており、本文中心の読みやすいレイアウトに加えて、図版・写真が見やすく掲載されている点などから、三省堂の教科書を選定しました。

No. 22の地理総合については、図版の扱い方が分かりやすく、地理探究への導入として学習する上で必要とされる学習内容を網羅できていること。また、事例学習の扱いにおいて工夫が見られ、使いやすい点などから、帝国書院の教科書を選定しました。

No. 23の日本史探究については、生徒の進路・興味・関心に応じて、深化・発展させられる内容や問いの提示がなされており、探究活動に取り組みやすい構成となっています。また、記述が詳細であるため、生徒の進路実現に向けた教科指導が期待できる点などから、山川出版の教科書を選定しました。

No. 24の世界史探究については、探究活動につながる問いの設定が適切で事項と事項をつなぐ説明が理解しやすく配慮されていること。また、図版も豊富で、分かりやすい地図資料や豊富なデジタルコンテンツが設けられており、生徒が知りたい情報に容易にアクセスできるようインターフェイスも洗練されている点などから、帝国書院の教科書を選定しました。

No. 25の地図については、地図の表現方法が見やすく、思考を促す主題図や鳥瞰図が多く掲載されています。また、地名表記の統一性の観点から教科書と地図帳は同一の出版会社が望ましい点などから、帝国書院の教科書を選定しました。

No. 27の数学Ⅲ、No. 28の数学B、No. 29の数学Cについては、定理の証明などが省略せず記述され、理解が容易な例題が挙げられているとともに色を効果的に用いた視覚に訴える解説によって知識及び技能の習得ができる工夫がなされていること。また、思考力・判断力・表現力等の育成につながる要素として、具体的な場面を想像しながら解答できる問題が出題されており、既習内容を基にした思考ができるよう工夫されています。単元において核となる重要な問題が豊富に配置され、さらに学びに向かおうとする資質・能力の発揮伸長において期待ができる点などから、数研出版の教科書を選定しました。

No. 30の物理については、日常生活と関連付けた内容が充実しており、興味関心が高まる工夫がされています。QRコンテンツによる実験動画等は、予習や復習、オンライン学習をする際にも効果的です。また、発展的な内容や証明も記載されていて習熟度に応じ活用できる点などから、数研出版の教科書を選定しました。

	<p>No. 3 2の化学については、学習内容が精選されており生徒にとって理解しやすい編集になっているとともに、図や写真が鮮明で見やすく、オンライン学習などにおいても、視覚的に理解を助ける工夫がなされており、生徒の論理的思考能力や判断力を養うことができます。また、前段階である化学基礎で用いる教科書が、「数研（化基708）化学基礎」であるため、継続性や関連性を鑑みても最適である点などから、数研出版の教科書を選定しました。</p> <p>No. 3 3の生物については、生物学に対して興味関心が高まる工夫が随所にされていて、分かりやすい構成となっています。QRコンテンツによる実験動画等を通じて、より詳しく学べるような工夫が見られる点などから、数研出版の教科書を選定しました。</p> <p>No. 3 4の英語コミュニケーションⅡの数研出版の教科書については、一つ一つの単元が精査されており、その分野における豊富な周辺教材を用いて、様々な活動を行うことができます。また、写真や図表を用いた導入活動からレッスン全体の通読と様々な形で本文内容や文に触れる機会を作ることができる点などから選定しました。</p> <p>No. 3 5の論理・表現Ⅱの桐原書店の教科書については、デジタル教材やワーク・ドリルなどの周辺教材が豊富で、4技能において全て活動に対応できるものとなっています。日常的な英会話やプレゼンテーションなどで使える自然な英文が多数掲載されており、演習も実生活での様々な状況を考えた構成となっている点などから選定しました。</p> <p>No. 3 6の家庭基礎については、学習指導要領に示された内容を偏りなく適切に扱っており、QRコンテンツにより教科書の記述内容を補う動画を備えています。また、高校生の生活に身近なものから学習内容が配列されており、学習意欲を高められるように工夫されています。自立した生活を営むために必要な基礎的・基本的な知識や技術を系統的に学習できるよう、分かりやすい見出しを立て、シンプルな構成で展開している点などから、教育図書の本を選定しました。</p> <p>報告は以上です。ご審議をよろしくお願いいたします。</p>
重松教育長	<p>ありがとうございます。</p> <p>続いて、西宮支援学校選定委員会より、説明をお願いします。</p>
西宮支援学校教科用図書選定委	<p>選定委員会を代表して、令和5年度に使用する教科用図書採択について申請します。</p>

員会委員長	<p>最初に、申請に至るまでの経緯について報告します。</p> <p>5月18日の教育委員会臨時会において議決された、「令和5年度使用西宮市立学校教科用図書採択に関する基本方針」に基づき選定委員会を設置し、選定作業を進めてまいりました。</p> <p>まず、選定方針を1. 西宮市教育委員会の採択に関する基本方針に従い、最も適切な教科書を選ぶ。2. 小・中・高の一貫性や教材の系統性を十分に考慮して適切なものを選ぶ。3. 各教科の主たる教材として、目標達成に適したものを選ぶ。と決めました。</p> <p>この基準にのっとり、各教科の教科書について、専門的な見地から調査研究を進めました。</p> <p>特別支援学校の場合、特に個々の生徒によって障害の状況等も様々ですので、一人ひとりの生徒について確認しながら、調査研究を進めました。</p> <p>その上で、各教科、各学年の代表、管理職、保護者、学識者から構成する選定委員会を6月16日に開催し、採択申請する教科書を決定いたしました。7月4日付で供給できない一般図書がある旨、連絡がありました。供給できない一般図書に該当する図書がありましたので、7月8日に再度選定委員会を開催し採択申請する教科書を決定いたしました。</p> <p>49ページ以降に小学部、中学部、高等部の順で記載しています。</p> <p>51から53ページが小学部についての採択申請書となります。</p> <p>小学部では、国語、算数、生活について一般図書を選んでいきます。</p> <p>51ページにありますように、それ以外の教科では、小学校、義務教育学校前期課程で採択された検定教科書を使用いたします。</p> <p>西宮支援学校では、授業形態として、学年の生徒全員で集団学習をする授業と、障害の状況等によってグループ等に別れて個別に学習する授業を併用しています。集団学習の場合でも、補助の教員が付きながら、個々の生徒の状況に応じた指導をしています。今回選定したこれら図書は、集団学習の形態の授業での使用を想定しております。</p> <p>また、「生活」の教科書については、児童1人につき、小学部1年生では1冊、小学部2・3年生では2冊まで、小学部4から6年では3冊まで採用することができます。しかしながら、来年度の児童についても全学年1冊とすることにいたしました。</p> <p>なお、小学部1年については、来年度入学してくる児童の詳細な状況が分からないため、例年、検定教科書を採用しており、来年度も同様の方針であるため、一</p>
-------	--

般図書としては1冊も報告に挙げておりません。

次に、52ページをご覧ください。

No. 1の生活「こどものずかんM i o 1 2きせつとしぜん」については、動物、植物が季節に合わせてイラストや豊富な写真で分かりやすく紹介されています。また、動物の足跡や鳴き声などクイズ形式で紹介されるなど、興味を持ちやすい工夫がなされており、絵本に沿って実際に音や感触を体験できる教材となっております。絵本に出てくる子供のイラストや写真の動物たちが、吹き出しの形で考えるポイントを示しており、注目しやすい点などから、選定しました。

No. 2の国語「レオ・レオニの絵本 スイミー」については、検定教科書にも登場する題材で、友達を意識できるような場面が設定されています。居住地校交流などで、同じ教材と一緒に学ぶことができるとともに、赤い魚、黒い魚など色使いも明確であり、挿絵もシンプルで視覚的に捉えやすいため絵に注目しやすく場面展開のおもしろさもある点などから、選定しました。

No. 5の国語「てぶくろ」については、物語の中で動物の特徴に触れることができるに加え、次々に手袋の中に動物が入ってくる様子など、子供たちが物語の中に入って演じられる教材となっております。演じる中で友達を意識したり、展開を楽しんだりでき、動物たちの繰り返す会話がリズムカルで楽しみながらやりとりを味わうことができます。「てぶくろ」という題材や挿絵を通して季節を感じながらお話を楽しむことができる点などから、選定しました。

No. 15の算数「音のでるとけいえほんいまなんじ？」については、児童自ら時計を操作しながら学習のできる興味関心を持ちやすくなっています。数字が見やすく、針の示す位置もわかりやすく、時刻や時間の見方や考え方を、体験を通して身につけることができます。また、ボタンを押して操作すると音が鳴るため、聴覚的に優位な児童にも適している点などから、選定しました。

また、54ページに参考資料としてあげている図書は、兵庫県教育委員会の調査研究資料に掲載されていない図書を記載しております。

次に、55ページをご覧ください。中学部についての採択申請書となります。

中学部では、国語、社会、理科について一般図書を選んでおります。各学年全員が同じ図書を選んでいきます。数学については、文部科学省による著作本、いわゆる星本を使用します。

次に、56ページをご覧ください。

No. 1の国語「ゆっくり学ぶ子のためのこくご1（ひらがなのことば・文・文章の読み）」については、日常生活で用いる言葉をもとに、ひらがなの文章や同じ仲間

<p>重松教育長</p> <p>山本教育委員</p>	<p>の言葉を集めるなどし、気持ちや様子を表す言葉についても学ぶことができます。また、字や挿絵も色彩鮮やかに大きく描かれている点などから、選定しました。</p> <p>No. 9の数学「くらしに役立つ 数学」については、社会生活に必要な事柄を数学的な観点で掲載されており、図や表、イラストなども用いて分かりやすく解説されています。また、数学が社会生活とどのように結びついているかを理解しやすく、興味や関心に応じて活用しやすい点などから、選定しました。</p> <p>No. 10の理科「小学館の図鑑NEO地球」については、写真や絵図などが多く用いられており生徒が興味を持ちやすくなっています。また、様々な自然物や自然現象などが写真や絵図などととも平易な文章で記述されており、生徒が学習に取り組みやすく学習の幅を広げることができる点から、選定しました。</p> <p>55ページにありますように、それ以外の教科では、中学校、義務教育学校後期課程で採択された検定教科書を使用する予定です。</p> <p>先ほどの小学部と同じになりますが、58ページには、兵庫県教育委員会の調査研究資料に掲載されていない図書を記載しております。</p> <p>59ページをご覧ください。高等部についての採択申請書となります。</p> <p>59ページは、今回申請している検定教科書についての申請となります。</p> <p>申請する教科書に変更はありません。</p> <p>60ページをご覧ください。</p> <p>60ページには、一般図書について選定したものを記載しています。</p> <p>61ページをご覧ください。</p> <p>No. 1の国語「ちびまる子ちゃんの音読暗誦（おんどくあんしょう）教室」を今年度新たに選定いたしました。古典から現代の著名な文学作品が多く掲載されており、言葉や作品の持つ美しいリズムや語感を味わうことができます。作品の解説や作者にまつわるエピソード、作品が生まれた時代背景の説明などもあり、4コマ漫画や挿絵によって作品を親しみやすいものにしていく点などから選定いたしました。</p> <p>報告は以上です。ご審議をよろしく申し上げます。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>これで説明が終わりましたので、これより審議に入ります。</p> <p>本件にご意見、ご質問はありませんか。</p> <p>2つの高校へ同じ質問です。国語は選択教科としてどちらも論理国語と古典探究</p>
----------------------------	---

	<p>が選択されていると思います。これはつまり、文学国語と国語表現は選定しないと解釈したのですが、これは大学入試と関係しているということなのでしょうか。それが一つです。</p> <p>あと一つ、これは教科書を使っていないと思うのですが、総合的な時間、総合的探究の時間という形で、探究という言葉が今回キーワードとして登場していて、先ほど市西の校長先生からも総合的な探究の時間につながるような話もあったのですが、具体的に両校は総合的な探究の時間で、どのようなことをされているのか。この2つを聞かせていただければと思います。</p>
西宮高校教科用 図書選定委員会 委員長	<p>論理国語についてですが、新学習指導要領において国語では、これまで現代文Bや古典Bといった選択科目が、新たに論理国語、文学国語、国語表現、古典探究の四つとされました。この中において論理国語というものを、選択をしております。</p> <p>論理国語につきましては、実社会において必要になる論理的に書いたり、批判的に読んだりする力の育成を重視した科目で、社会的な話題に関する論説文や資料を読み自分の考えを論理としたり、討論したりという教科の学習内容となっております。</p> <p>そのようなことが本校の生徒の実情に一番合っているということで、選択した次第です。もちろん大学入試を考慮し、選択をしております。</p> <p>探究活動に関しましては、本校ではテーマ研究、科学英語を例えばですが行っております。つまり科学英語では、教科横断的に理科と英語を学ぶ取組みをしております。本来、学習指導要領にもありますカリキュラムマネジメント、教科横断的な取組みというものを視野に入れながら、探究活動を展開しているところです。以上です。</p>
西宮東高校教科 用図書校選定委 員会委員長	<p>一つ目のご質問の論理国語を選択しているということは、この文学国語、国語表現は、できないのかということですが、そうとも言えます。1年で必修の現代の国語、言語文化、これは全員が学びますが、その後、2年次に進級しました後、本校としては全員にこの論理国語を学ばせておまして、この文学のその分野など、自分で表現する分野につきましては、高校の場合、本校の場合3年次で選択科目がございますので、こういった分野に興味関心、また進路実現のために必要な生徒などは、そういったところでこちらの分野を選択するようにしております。大学入試との関連についてもお尋ねのところがありませんでしたが、確かに</p>

	<p>大学に入学するに際しまして、論理的に言葉をしっかりと読み解く、表現する、そういった能力は強く求められるところでもありますので、全員に選択する、させる科目として論理国語を選んでいる次第でございます。</p> <p>2つ目の総合的なこの探究についてお尋ねでございますが、本校は、実は2つのコース、数理科学コース、いわゆる理系のコースと人文社会科学コース、文系と申し上げていいかと思えます。この文系のコースをそれぞれ持っておりまして、探究につきましては、この2つのコースで先駆的といいますか、充実した取組みを進めてきたところでございます。特に人文社会科学につきましては、「西宮学」というタイトルをこの探究の時間そのものに付けまして、実際、市役所の各部署の方のご協力をいただきながら、自分たちの住んでいるこの地域の課題について知っていこう、考えていこう、課題解決のために何ができるかを考えていこうという取組みをしております。</p> <p>数理コースにつきましては、理科・科学系の課題探究を行いまして、本校の場合それらを最終的には校内だけではなく、近隣の小中学校の皆さんと交流して、それらを発表するという形を取っております。</p> <p>そして普通科につきましては、先の2つのコースの取組みを参考にしながら、課題探究ですが、いかにして自分たちでまず身近なところから課題を探し出していくか。そしてそれについて、解決方法を自分たちで探していく。そういったものをまず個人、さらには少人数、そして最終的にはまた個人というふうに戻していきまして、探究活動を今行っているところでございます。</p> <p>以上です。</p>
山本教育委員	総合的な探究の時間というのは、何時間ぐらいされているのですか。
西宮東高校教科用図書選定委員会委員長	本校の場合ですと、65分授業で、1年生の段階で全て1.5時間です。65分授業の本校ですので50分授業に換算いたしますと2単位と考えていただいたら結構かと思えます。
	そして2年生になりますと、これが全て1単位でございます。 1年生で2単位、2年生で1単位と考えていただけたらと思えます。
西宮高校教科用図書選定委員会委員長	本校も同じでありまして、3年間で3単位という形で考えております。

重松教育長	<p>必要単位を取るとい形になってはいますが、大学と違うのは、必須の単位を落としたからと言って進級できないわけではありません。ただし、必要単位数は絶対にとらなければいけません。</p> <p>ほかにはございませんか。</p> <p>よろしいですか。</p> <p>なければ採決に入ります。</p> <p>議案第28号については、原案のとおり可決してよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
重松教育長	<p>異議なしと認めます。よって本案は可決されました。</p> <p>続きまして、議案第29号「令和5年度使用義務教育諸学校教科用図書採択の件」を議題とします。</p> <p>それでは選定委員会より説明をお願いします。</p>
義務教育諸学校教科用図書選定委員会委員長	<p>はじめに、経過報告をいたします。</p> <p>5月18日の教育委員会臨時会において、「令和5年度使用西宮市立学校教科用図書の採択に関する基本方針」を決定いただきましたあと、5月24日に第1回選定委員会を開催いたしました。</p> <p>その中で、「令和5年度使用義務教育諸学校教科用図書選定委員会報告方針」を決定するとともに、特別支援学級用の一般図書について、調査員会を設置し、調査研究を行うことを確認いたしました。</p> <p>調査員について、「義務教育諸学校教科用図書選定委員会運営要領」に従い、特別支援学級用の一般図書は、調査員5名で構成いたしました。</p> <p>なお、調査員のうち、教頭は学校教育課長が推薦、主幹教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭は各学校から校長が推薦し、選定委員会が委嘱しました。</p> <p>5月27日に、第1回調査員会を開催し、採択方針と調査研究についての説明、教科書採択に係る公正確保等について確認するとともに、教頭を含む代表2名を選出いたしました。</p> <p>その後、調査員による調査研究を行い、7月6日に第2回選定委員会を、調査員代表及び事務局から調査結果の報告及び聴取を行い、報告書の加筆修正等を行い、本日の報告書を作成いたしました。</p>

なお、公正確保につきまして、調査研究が静謐な環境の中で、公正公平な立場で行われたことを合わせてご報告いたします。

「特別支援学級用一般図書の調査報告」につきましては、報告書の3ページから8ページに記載しております。

特別支援学級用の児童生徒の教科書については、検定教科書や文部科学省による著作本、いわゆる星印本を採用することをまず検討し、これらを使用することが難しい場合には、検定教科書などに代わる、教科の主たる教材として絵本などの一般図書を採用してもよいこととなっています。

本市では、平成23年度より、文部科学省及び兵庫県教育委員会が示す一般図書のリストをもとに、西宮市版のリストを作成し、教育委員会に採択していただいています。

本年度の調査研究では、令和4年度一般図書契約予定一覧及び、県教育委員会作成の調査研究資料をもとにして協議いたしました。昨年度作成したリストから、令和4年度用一般図書契約予定一覧に掲載されていない9冊を一覧から外すとともに、特別支援学級に在籍する個々の子供を想定し、教科、学年、障害種別における適正を判断したり、一般図書を使用してどのような学習が展開できるかを話し合ったりして、新たに8冊を追加いたしました。調査報告書提出後に、兵庫県教育委員会事務局特別支援教育課長より令和5年度使用一般図書において供給できない図書がある旨、連絡がありました。そのため、該当する2冊を一覧から外し、合計188冊の図書を掲載しました。

8ページをご覧ください。

こちらに、昨年度のリストから削除した図書と追加した図書をまとめております。第2回義務教育諸学校教科用図書選定委員会の協議の中では、五感を使って学ぶ音が出る図書を使用する際の指導上の留意点や、DVDが付属している図書における特別支援学級でのデジタルメディア活用状況などを話し合いました。

8ページの上の表に削除する11冊を記載しております。

削除にする理由については、令和4年度使用一般図書契約予定一覧に掲載されていないこと、令和5年度使用図書として供給ができないことのためです。

次に、その下の表に記載している、リストに追加する8冊の図書について、ご説明いたします。

表の一番左の番号、No. 51の「音のでる絵本おとのでるあいうえおのえほん」については、文字の形や書き順を確認できるだけでなく、その文字の音声が開ける、自分で作った言葉の録音や再生ができる、クイズ形式やしりとりもあるなど、

興味関心を持ちやすいため、追加いたしました。

No. 52の「音のどくとけいえほんいまなんじ?」は、ボタンを押すと、時計が指している時刻を音声でも確認できるなど、視覚と聴覚の両方を活用して学ぶことができるため、追加いたしました。

No. 141の「講談社の動く図鑑MOVE植物DVDつき」は、動きのある生き生きとした写真を多く掲載し詳しく解説するなど、植物に興味関心を持ちやすく分かりやすい図鑑となっていることにくわえて、DVD付きなので、学びを深めるだけでなく、文字が読めなくても興味が持てるようになっているため、追加いたしました。

No. 142の「チャイルドブックこども百科ふしぎ、ふしぎ!かがくあそび図鑑」は、作りやすい物が多く、作り方も分かりやすくなっています。作った後も実際に楽しく遊ぶことで、より発展的に学ぶことができるようになっているため、追加いたしました。

No. 49の「福音館の科学シリーズ植物あそび」は、身近な題材が使われ、生活に結びつけやすく理解しやすくなっています。絵で表現されているため、写真より親しみが持ちやすく、拒否感も出にくくなっているため、追加いたしました。

No. 48の「はじめてのなんどもかけるひらがなぶっく」は、ホワイトボード用のペンやクレヨンで書き、ティッシュなどで簡単に消すことができるので何度もひらがなのくりかえし練習ができることと、細い鉛筆がうまく握れない、筆圧が弱いなどの場合でも有効に使うことができるため、追加いたしました。

No. 152の「わくわく音あそびえほんヒュルヒュルドカーンおまつりたいこ!」は、軽く触れるだけで音が出るためたたきやすく、音色の違う3つの太鼓が並んでおり、音の違いも楽しめる作りになっています。歌詞の本にも、どこで叩くかの印も記載しており、曲選びのボタンもイラストで分かりやすいため、追加いたしました。

No. 130の「とけいつきしかけえほんピーターいまなんじ?」は、長針と短針を別々に動かせる時計が付いており、何時かを簡単に作って認識できるなど、時計学習の導入時に興味を持って学べるようになっているため、追加いたしました。

同じく、報告書8ページの下段をご覧ください。

これまで既に西宮版のリストに掲載されていた一般図書の中にも、他の教科や他学年、他の障害種別でも使用可能なものがあるかどうかについても調査研究を進めました。今年度は特に変更はありませんでした。

各学校で特別支援学級の個々の児童生徒が使用する一般図書を定める際は、担任

<p>重松教育長</p>	<p>を中心として、管理職、保護者、特別支援教育課が連携を図り、検討を重ねて、西宮市版のリストの中から、個々の子供の状況にあった、最も適切な教科用図書を選ぶこととなります。</p> <p>「特別支援学級用一般図書の調査報告」については、以上でございます。</p> <p>ご審議をよろしくお願いいたします。</p> <p>説明は終わりました。</p> <p>これより質疑、討論に入ります。</p> <p>「特別支援学級用一般図書」について、ご意見・ご質問はありませんか。</p> <p>よろしいですか。</p> <p>それでは選定委員会からの報告のとおり、採択したいと思いますが、ご異議はございませんか。</p> <p>(異議なし)</p>
<p>重松教育長</p>	<p>異議なしと認めます。よって報告のとおり採択いたします。</p> <p>最後に、その他の教科用図書採択について確認いたします。</p> <p>「小学校、義務教育学校前期課程教科用図書」「中学校、義務教育学校後期課程教科用図書」については、基本的に、同一の教科書を4年間採択しなければならないとされているため、前年度採択された教科用図書を採択します。よろしくお願いいたします。これについては、ご異議は認めませんので前年度採択された教科用図書を採択いたします。</p> <p>以上で、議案第29号の審議を終了いたします。</p> <p>以上で予定されていた議題は全て終わりました。</p> <p>では、これをもちまして第2回 教育委員会臨時会を閉会します。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>(終了)</p>